

こどもニュース2024

西区役所・西区菊地健次区長



2024年に80周年を迎えた横浜市西区役所を訪れました。西区役所は各フロアにさまざまな窓口があり、約400人の職員が働いています。1階に西区の今と昔を比較し作られた「今昔かるた」が掲示してあり、西区の歴史を楽しく知ることができました。僕が気に入ったのは「天高く白い帆を張る日本丸」です。青い空に生える白い帆が目に見え、とてもいい句だと思いました。菊地区長に未来の西区像について聞きました。西区の人口は現在約10万人ですが、46年後の2070年には約18万人まで増える予想です。人口の増加が続く見込みなのは横浜市で西区だけ。「これから住民が増えていくにつれ、地域のつながりが強くなっていき、みんなで西区をよくしていく。そうすることで西区がもっとにぎわいのあるまちになり、世界に誇れるまちになっていけたら」と菊地区長さん。これからの西区はどんな発展を遂げるのか楽しみです。(角田和瑛)

ドイツクリスマスマーケット in 都筑



都筑区では、毎年12月、センター北駅前広場公園で「ドイツクリスマスマーケット in 都筑」が開かれています。実行委員会を取材しました。都筑区にはドイツ系企業がたくさんあり、東京横浜独逸学園(以下独逸学園)もあり、ドイツの方がたくさん住んでいます。そこで、ドイツ人と日本人の交流を深めるためにこのマーケットを行っています。当日のイベントは、独逸学園の店出やドイツ企業のワークショップもあり、ドイツの方が焼く本格的なソーセージを食べることができます。ドイツではクリスマスの4週間前からアドベントカレンダーをつくり、教会では1本のロウソクに1日ずつ火をつけて、クリスマスを楽しみに待ちます。また、ドイツには聖ニコラスとめし使いのブラックサンタという2人のサンタがいます。ブラックサンタは悪い子を罰を与える人で、当日のイベントでステージに出できます。

神奈川県立歴史博物館



現在の神奈川県立歴史博物館の建物は、明治三十七年創建当初は銀行でした。関東大震災の影響で火災が発生し、内装のほとんどが消失してしまい、その後、銀行としての役目を終えて博物館として開館しました。2025年1月から工事のため休館を予定しています。取材したときには、特別展「かながわへのまなざし」を開催していました。この特別展は、当時の絵や写真の細かいところまでを見てほしいという想いが込められています。この展示の企画にあたって学芸員の方が構想を立て始めたのは、約5年前だと教えてくれました。展示を見てくれた人が、おもしろい、と言ってくれることがいちばんうれしいそうです。

県立歴史博物館の外観で特徴的なのは、ドーム型の屋根で、特別に中に入らせてもらいました。とくに何があるわけではなく、飾りだそうです。そのドームの外側の色は、今は青緑色ですが、昔は赤茶色でした。外側の素材が銅だからです。この取材を通して、この建物自体が展示品ということがわかりました。関東大震災後、外の壁はどうか残っていたので、復興し、博物館に生まれ変わったときに新しく屋上のドームがつけられました。そうやってますます立派な建築としての作品ができたんだと思いました。(長谷川翔)



「野菜レストランさいう」



野菜レストランさいうのシェフは、食の大切さを広めたいという志を持って野菜レストランを開き、来年で20周年になるそうです。今回は、「野菜探検隊！親子食育アカデミー」に参加しました。最初にオリジナルドレッシング作りをした後、生野菜と焼いた野菜の食べくらべを体験しました。生野菜は新鮮でシャキシャキとしていて、焼いた野菜は柔らかくてあまい味がしました。お昼には特製のトマトソースのパンネを食べ、ベーコンや玉ねぎや小松菜などの野菜が入っていてとてもおいしかったです。食後に、野菜のにおいや見た目や感触、味をふせんに書いてみんなで共有しました。味覚や野菜についてのクイズもあり、とても楽しく食育を学ぶことができました。(川瀬未来)



Kアリーナ横浜



みなとみらいに新しくできた「Kアリーナ横浜」は、音楽アリーナとして世界でも最大級の2万人以上が入れるアリーナです。音響設備、ステージ、照明などは用意されているため、公演者が設備を持ってこなくてもコンサートができます。すぐ隣にはホテルのヒルトン横浜やタワー横浜というオフィスビルや飲食店などがあり、それらの施設を含むエリア全体をミュージックテラスといいます。Kアリーナ横浜内には、11カ所の売店、約6000個のコインロッカー、グッズ販売のテントがあるとのことなので、コンサートの時間よりも早めに行き、荷物を預けて遊んだりご飯を食べたりするのも楽しそうです。(佐々木奏太)

ヨコハマポートサイド「アートのまちに出かけよう！」



ヨコハマポートサイドのイベントの一つ、ホライゾン学園コミュニティスペースで行われた「ガウンさんとハートをつくらう！」に参加しました。ガウンさんは韓国出身で、アートに関わるお仕事をされています。BankART Stationのスタッフや横浜市役所、ホライゾン学園関係者の方々もみなさんとも親切でした。まず最初に、「夢を描く人たち」という絵のある公園に行きました。鳥やハートが描かれており、鳥が明るい未来を運んでくるそうです。次に、大きなハートをかたどった中にあるたくさんの小さなハートに、みんなが嬉しくなる願いとして、平和やhappyなどの言葉を描きました。次に、その言葉をプラ板に書き、オープンで焼いてキーホルダーにしました。オープンで使う電気は、神奈川トヨタの電気自動車から供給されました。電気自動車とつながって、電化製品が動く様子が面白かったです。これからもまた、BankART Stationのイベントに参加して、アートにふれたいと思いました。(川瀬未来)



Jr.記者による取材、新聞やWeb媒体を通じた地域の魅力発信活動を応援してくれる方を募集しています。

矯正歯科 始めました TEL:045-222-8678

Web予約

みなとみらい学園歯科クリニック
Minato Mirai Gakuen Dental Clinic

横浜市西区高島1-2-15 みなとみらい線 新高島駅2大通り高島口より徒歩2分

第14回 横浜市放課後事業合同 ドッジボール大会

日時 2025年2月16日(日) 会場 横浜武道館

主催：横浜市放課後事業合同ドッジボール大会実行委員会
後援：横浜市子ども青少年局
協賛：横浜読売会、日本 KFC ホールディングス株式会社

ブロック	A	B	C	D	E	F	G	H
低学年	たけの子 茅ヶ崎東 文庫 新吉田第二	富士見台 都岡 箕輪 市沢	大鳥 のびのび 日枝 おかえり	大岡 西前 東 釜利谷南	岡村 品濃町 東中田 中山	嶺山 緑園学園 神橋	東山田 山下みどり台 末吉	新鶴見 山王台 初音が丘
高学年	緑園学園 市場 山王台 永田台	新鶴見 鴨居 茅ヶ崎東 六ツ川西	富士見台 高田 高田東 山下みどり台	初音が丘 小田 おかえり 東山田	桂 浜 嶺山 浅間台	川井 釜利谷東 上菅田世の丘 都岡	戸塚 東 大島	のびのび品濃合同 たけのこ 神橋

予選を勝ち抜いた低学年の部(1-3年)と高学年の部(4-6年)の、あわせて58のチームが熱い戦いを繰り広げました。決勝に勝ち残ったのは、低学年の部も高学年の部も、緑園学園キッズvs初音が丘キッズとなり、激戦の結果、双方とも緑園学園キッズが優勝しました。

試合を見た記者の感想は・・・

- ものすごく真剣勝負で、緊迫した試合にびっくりした。
- 自分たちもドッジボールをやることはあるが、ボールのスピードがぜんぜんちがう。
- 思いっきり力をこめて投げていてすごい迫力だった。
- 男女関係なく一緒にプレイできるスポーツっていいな。
- みんなかっこよかった！

大会をサポートしている 横浜読売会の方にインタビュー！

Q この大会をサポートすることになった経緯を教えてください。

私たちが横浜読売会は、地域の活動を応援したいという気持ちから、横浜市と地域貢献に関する協定「YY(ワイワイ)サポートプロジェクト」を結んでいます。特に子どもたちが熱意を持ってやれることを応援したいと思って、ドッジボール大会を支援することを決めました。(取材：鐘郷 尊吾・中光 彬文・長谷川 高快・藤田 紗奈)

優勝 緑園学園キッズにインタビュー

決勝戦の試合はものすごく白熱しました。ボールをキャッチしたり相手にボールをあてたりすると、横浜武道館全体が揺れるような盛り上がりでした。みんなで一心同体となって動いていて強いきずなが感じられました。閉会式の後、優勝チームの低学年の部と高学年の部のキャプテンにインタビューをしました。低学年の部優勝の緑園学園キャプテンは「決勝戦は緊張したけれど優勝してうれしい」と言っていました。ドッジボールの楽しいところは「チームのみんなで活躍して、みんなであまくなること」だそうです。高学年の部の緑園学園キャプテンは、決勝戦の試合も緊張はせず、楽しもうと思っただけだそうです。次の目標を聞くと、「チームをもっと強くしたい」と言っていました。高学年の部のキャプテンの将来の夢は、「みんなを笑顔にできる野球選手」と言っていました。今回の取材で、仲間を信じる大切さを知りました。(記事：長谷川 高快)



読売新聞は学びの味方 身につけよう！ 未来の見方 新聞の読み方

新聞を「読む」トレーニングは、知らず知らずのうちに「語彙力」「読解力」を養う事になり、大学入試はもちろん、高校・中学・小学校の授業においても「新聞を読んでいる子」は有利になります。

読売新聞 毎月550円 (税込) 木曜日発行

読売 中高生 新聞 毎月850円 (税込) 金曜日発行

10代の「知りたい」にこたえる！

毎週 金曜日発行 月850円 (税込)

時事ワードやニュースダイジェストで、短時間で効率的に情報が得られる！学力アップに役立つ授業とは異なる切り口！

新聞を読む子どもは学ぶ力が高い！

神奈川県にお住まいの方へ

新江ノ島水族館 最大14日間無料の お試し新聞のお申し込みでもらえる

新聞お試し プレゼントキャンペーン実施中！ 2025年6月30日(月)申込分まで

※チケットは、最寄りの新聞販売店からお届けします。

チケットが無くなり次第終了します。お申し込みはお早め！

読売新聞 朝夕刊セット 4,800円 (税込)

読売新聞オンライン(デジタルサービス)は 新聞購読料金+0円でご利用できます！

小学生向け新聞や中学生向け新聞のお試しセットのお申し込みでも ※最大2回分 江ノ島水族館入館チケット もらえます！

お申し込みはこちら

二次元コード

読売新聞のお試しはこちら

読売新聞と読売KODOMO新聞のお試しはこちら

読売新聞と読売中高生新聞のお試しはこちら